



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成29年第34週(8月21日~8月27日)

2017年8月30日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ ◎ :警報レベル

○ :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第33週	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	671 0.14																11417
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	5389 1.76	74 2.64	128 4.27	▲	36 3.27	66 5.08	▲	1 0.33	5 1.67	△	37 6.17	49 8.17	▲		8 1.00	△	470
咽頭結膜熱	1499 0.49	26 0.93	23 0.77	▼	13 1.18	13 1.00	▼	5 1.67	3 1.00	▽	5 0.83	6 1.00	△	3 0.38	1 0.13	▽	626
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2835 0.93	35 1.25	51 1.70	△	18 1.64	21 1.62	▼	1 0.33		▼	13 2.17	23 3.83	△	3 0.38	7 0.88	△	5073
感染性胃腸炎	8290 2.71	60 2.14	91 3.03	△	20 1.82	41 3.15	△	3 1.00	2 0.67	▽	22 3.67	25 4.17	△	15 1.88	23 2.88	△	5377
水痘	695 0.23	5 0.18	14 0.47	▲				2 0.67	11 3.67	▲				3 0.38	3 0.38		441
手足口病	16943 5.54	271 ◎9.68	287 ◎9.57	▼	65 ◎5.91	69 ◎5.31	▼	27 ◎9.00	8 ◎2.67	▽	91 ◎15.17	97 ◎16.17	▲	88 ◎11.00	113 ◎14.13	△	2127
伝染性紅斑	151 0.05	6 0.21	17 0.57	△				1 0.33		▼	5 0.83	17 ◎2.83	△				485
突発性発しん	1129 0.37	14 0.50	14 0.47	▽	2 0.18	3 0.23	△	2 0.67	1 0.33	▽	6 1.00	4 0.67	▽	4 0.50	6 0.75	▲	647
百日咳	33 0.01	2 0.07		▼	2 0.18		▼										22
ヘルパンギーナ	3632 1.19	74 ◎2.64	139 ◎4.63	△	13 1.18	33 2.54	△	2 0.67	1 0.33	▼	46 ◎7.67	80 ◎13.33	△	13 1.63	25 3.13	△	818
流行性耳下腺炎	1177 0.38	4 0.14	7 0.23	△	1 0.09	3 0.23	△				1 0.17	3 0.50	△	2 0.25	1 0.13	▽	481
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	584 0.85		7 0.88	△		7 1.75	△										67
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7 0.01																78
クラミジア肺炎	6 0.01																
マイコプラズマ肺炎	138 0.29	8 0.80	1 0.10	▽	4 1.00		▽	1 1.00		▽				3 1.00	1 0.33	▽	140
細菌性髄膜炎	14 0.03																2
無菌性髄膜炎	30 0.06																7

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		
	無症状病原体保有者			1	1	
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者	1				※第33週追加報告分。90日以内の海外渡航歴無し。
破傷風	患者	1				※第33週追加報告分。破傷風含有ワクチン接種歴無し。

## <通信欄>

※トピックスで、RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

＜定点把握感染症 報告患者数 年齢別＞

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	11	24	54	21	15	1	1		1						128
咽頭結膜熱	1		8	6	2	3	2					1			23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	2	2	5	13	6	6	4	2	6	1	2	51
感染性胃腸炎		13	27	8	11	2	5	3		5	6	8		3	91
水痘		2	3	4	1			2	2						14
手足口病	3	32	113	61	32	24	9	4	2	1	2	3	1		287
伝染性紅斑			3	2	4	2	3	2		1					17
突発性発しん	1	2	8	3											14
百日咳															
ヘルパンギーナ	1	12	57	32	11	9	6	7				3		1	139
流行性耳下腺炎						1	3	2	1						7

＜平成29年7月 月報＞

2017年8月23日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～7月	
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	20	6	9	12	7		1	2	3	126
	定点当り	2.00	2.00	1.50	2.25	12.00	7.00		0.50	0.67	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	2	2	2	1		1		1		44
	定点当り	0.50	0.20	0.50	0.50	1.00		0.50		0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	2	2						1	10
	定点当り	0.20	0.30	0.50	0.50						0.33	
淋菌感染症	報告数	6	5	2	1			2		2	4	27
	定点当り	0.60	0.50	0.50	0.25			1.00		0.67	1.33	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	5		1	4		1		2	4	46
	定点当り	0.70	0.50		0.25	4.00		0.50		0.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	24	23	13	14		2	2		11	5	144
	定点当り	2.40	2.30	3.25	3.50		2.00	1.00		3.67	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

＜トピックス＞

【RSウイルス感染症情報】

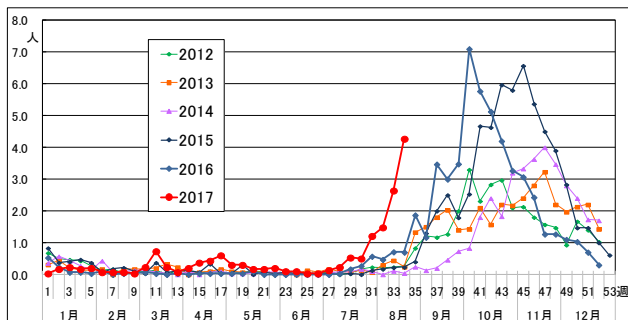
RSウイルス感染症の県全体の定点当たり報告数が、過去5年間の同時期に比べ、最も多くなっています。通常秋から冬にかけて流行しますが、年々流行時期が早まる傾向があり、今年は例年より1ヶ月以上早く、流行が開始しています。

・第34週 定点当たり報告数 (山形県:4.3人)

村山地区 5.1人、最上地区 1.7人、置賜地区 8.2人、庄内地区 1.0人

※警報・注意報の基準値は設定されていません。

・RSウイルス感染症 定点あたり報告数の推移(山形県)



RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は2～8日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も繰り返し感染発症します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなっています。

・手足口病:警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人

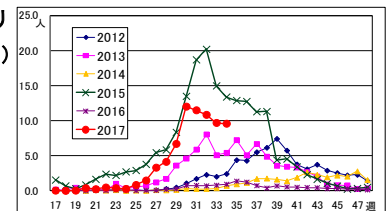
・第34週 定点当たり報告数 (山形県:9.6人)

村山地区 5.3人、最上地区 2.7人、置賜地区 16.2人、庄内地区 14.1人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(8月23日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が32件、エンテロ71が1件検出されています。

2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)



【ヘルパンギーナ情報】

ヘルパンギーナの定点あたり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっており、県平均の定点あたり報告数も警報レベルとなっています。

・ヘルパンギーナ:警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人

・第34週 定点当たり報告数 (山形県:4.6人)

村山地区 2.5人、最上地区 0.3人、置賜地区 13.3人、庄内地区 3.1人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(8月23日現在)

2017年に入って、山形県内のヘルパンギーナの患者から、コクサッキーウイルスA6が18件検出されています。